

静大通信(20)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-02-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 道林, 克禎 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024613

静大通信（20）

静岡大学理学部の全教員は平成25年度より理学研究科所属に配置換えとなりました。とはいえ、学部教育体制はこれまで通りで何も変わっていません。一方、地球科学科では昨年度から今年度にかけて大きな人事異動がありました。平成24年3月末にサティッシュ・クマール准教授が新潟大学に教授として転出しました。その後、石橋秀巳講師が8月1日に東京大学地震研究所から赴任しました。9月末に林 愛明教授が京都大学に教授として転出しました。そして、平成25年3月末に狩野謙一教授、里村幹夫教授、鈴木 款教授が定年退職されました。狩野教授は本学防災総合センターの特任教授、里村教授は神奈川県温泉地学研究所の所長、鈴木教授は本学創造科学技術大学院の特任教授となっています。平成24年度の4名の教授転出および退職に伴い、平成25年度の地球科学教室の教員構成も大きく変わりました。平成25年4月1日に森下祐一教授が産業総合研究所地質情報部門から本学に着任されました。在任教員についても、4月1日に北村晃寿准教授と道林克禎准教授が教授に昇任し、鈴木雄太郎講師と宗林留美講師が准教授に昇任しました。そして6月1日に平内健一助教と三井雄太助教がそれぞれ京都大学と北海道大学から本学に着任しました。現在の地球科学科（専攻）の教員体制を以下にまとめて示します。今後はさらに静岡県地学会に貢献できるように努めていきます。

道林克禎（理学研究科）

表. 静岡大学大学院理学研究科地球科学専攻の教員体制

地球ダイナミクス講座	生物環境科学講座
和田秀樹教授（地球化学）	加藤憲二教授（地球環境微生物学）
増田俊明教授（構造岩石学）	塚越 哲教授（進化古生物学）
森下祐一教授（地球化学・資源地質学）	北村晃寿教授（層序学・古環境学）
道林克禎教授（マントルテクトニクス・構造地質学）	生形貴男准教授（進化古生物学）
石橋秀巳講師（火山岩石学・実験マグマ学）	鈴木雄太郎准教授（古生物学・古生態学）
生田領野助教（地震学・固体地球物理学）	宗林留美准教授（生物海洋化学）
平内健一助教（構造地質学・変形岩石学）	木村浩之講師（地球微生物学・環境ジェノミックス）
三井雄太助教（地球物理学）	